

告示	番号	33	慢性心疾患
	疾病名	ベラパミル感受性心室頻拍	

## ベラパミル感受性心室頻拍

べらぱみるかんじゅせいしんしつひんぱく

### 概念・定義

左脚後枝領域を利用するリエントリーによる心室頻拍。左脚後枝近傍の部位に slow conduction を起こす部位が存在する。左室内に存在する false tendon がリエントリー回路の slow conduction を起こす部位である可能性もある。治療は、薬物治療か、カテーテル治療を行う。高周波カテーテルアブレーションが成功した場合には、健常成人と予後は変わらないと考えられるが、長期予後の観察が必要である。

### 症状

動悸が主な症状である。長期に持続すれば、頻拍誘発性心筋症となる。失神、突然死を起こす例は稀である

### 治療

頻拍の停止:Ca チャネル遮断薬 (ベラパミル) 静注でほとんど停止する。効果がなければ  $\beta$  遮断薬や解離の遅い Na チャネル遮断薬・(slow drug) (ジソピラミド, フレカイニドなど) を静注する。

頻拍の予防:

- 1) Ca チャネル遮断薬の投与を行なう。 $\beta$  遮断薬の投与も併用することがある。
- 2) 高周波カテーテルアブレーション

推奨クラス I

1. 症状を有する特発性心室頻拍で薬物治療が無効または副作用のため使用不能または患者が服薬を望まない場合。
2. 植込み型除細動器植込み後に除細動通電が頻回に作動し、薬物治療が無効または副作用のため使用不能な心室頻拍

推奨クラス IIa:

1. 症状を有する基礎心疾患に伴う単形性持続性心室頻拍
2. クラス I と考えられる乳幼児症例

抜粋元: [http://www.shouman.jp/details/4\\_7\\_9.html](http://www.shouman.jp/details/4_7_9.html)